



2014-2015年度 主題

国際会長 Isaac Palathinkal : "Talk less, Do more"
「言葉より行動を」

アジア会長 岡野泰和 : "Start Future Now"
「未来を始めよう、今すぐに」

東日本区理事 田中博之 : 「誇りと喜びを持って」
"With Pride and Pleasure"

湘南・沖縄部長 峯尾 舜 : 「一人は皆のために 皆は一人のために」
クラブ会長 鈴木 茂 : 「親睦！と奉仕！」

2015年4月号 <LT>

今月の聖句

「動かされないようにしっかりと立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずです。」

I コリント 15 : 58

2015年4月本例会

日時 : 4月24日 18 : 30~

場所 : かけはし都筑

受付 : 福島佐世子(報告書)

司会 : 林 茂博

例会プログラム

開会点鐘 鈴木 茂会長

ワイズソング・信条 一同

今月の聖句 相賀牧師

ゲスト・ビジター紹介 司会者

会長挨拶 鈴木 茂会長

卓話

「環境経済学における諸問題」

慶応義塾大学経済学部教授

細田衛士氏

各種アピール

スマイル

YMCA報告 生井担当主事

誕生祝い 1日 岡田勝美さん

24日 鈴木恭子さん

30日 福島佐世子さん

閉会点鐘 鈴木 茂会長

懇親食事会

「ピッツァ サルヴァトーレ」

センター南駅隣接

クラブ会計銀行口座

横浜銀行 菊名支店

(普通) 1330228

口座名義 : 横浜つづきワイズメン

& ウィメンズクラブ

こころをむすび、思いをつなぐ

山添 訓



主に望みをおく人は新たな力を得、驚のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

(イザヤ書 40 章 31 節)

多くの人の祈りと支えによって、この1年間も健康に守られ過ごせたことを主にあって感謝いたします。上記の聖句にあるように、あらためて主に望みをおき、新たにYMCAで働いていきたいと感じています。

2014年度は、自分にとっては北YMCAで館長として4年間の働きを終え、新たに本部事務局での働きがスタートした年でした。会員サービス、賛助会、事業開発など初めて経験することなども多く、刺激のある毎日でした。会員サービスは、会員登録や会員証発行などの事務的処理を行いながら、新しく維持会員なられた方にYMCAでボランティア活動などを行ってもらい、よりコミットしていただけるような活動の創出と情報発信が大きな役割でした。2月に行った横浜YMCA会員大会は多くの維持会員が集うことができ、YMCAの働きも知っていただくことができた大会でした。これからも多くの方にサポートして頂けるようにしていきたいです。

賛助会は、横浜を地盤とした企業を中心に横浜YMCAを支えてくださる企業の集まりです。現在は約50の企業が支援してくださっています。年間を通して横浜にある養護施設への支援を通して、社会貢献活動を行っております。養護施設の先生からは、普段大人との接点が少ないので、社員ボランティアの方との活動は、子どもたちの成長にとって大切なことのひとつだとおっしゃっていました。児童虐待などで施設に来る子どもたちが多くなっている昨今、社員ボランティアの方々と共に活動を継続していきたいと考えています。

これまで、直接水泳などの指導などで会員の方と接してきましたが、今は直接お会いすることは少ないですが、1500名以上の会員の方に、いかにYMCAを支えていただけるのか、また130年以上の歴史も中で脈々と受け継がれてきた横浜YMCAのこころを多くの方とむすび、そして未来の子どもたちにつないでいけるような働きをしていきたいと思っています。なかなか、クラブ活動に参加できないのですが、みなさんと繋がっていることは、自分にとってとても大切なことだと感じていますので、これまで以上に温かく見守っていただけると助かります。

前月データ		5月例会予告
在籍会員数	18名	
例会出席者	15名	
メンバー	14名	
ゲスト	1名	
ビジター		
メイキャップ	4名	
月間出席者	18名	
出席率	100%	

<3 月本例会報告>

日時:2015年3月27日(金) 18:30~20:00

会場:かけはし都筑

出席者:相賀, 今城 T・H, 岡崎, 岡田 K・M, 久保,
鈴木 K・S, 田中, 辻 Ts, 生井, 林 M・S,

ゲスト:水田秀子さん

3月本例会は、水田秀子さん(公益財団法人かながわ国際交流財団専務理事・横浜YMCA常議員)を卓話者にお招きして開催されました。

開会点鐘・ワイズソング・ワイズの信条に続き、相賀牧師による今月の聖句、祈祷があり会長挨拶の開会セレモニー後、卓話を伺った。「YMCAと私」と題してのお話でした。

永年県庁に関わられたお話“「私」を私たらしめている特徴や性質” “長年付き合ったお役所のおきてとそのプラス面 マイナス面” “寿町の活動から学んだもの” “教会の活動の中で感じる事” “横浜YMCAと私” “横浜Yの組織面の強み”そして米国コロラド州デンバーで開催された“2014年世界大会に参加して”の話題になりました。“大会テーマ” “ワークショップの概要” “エクスカージョンの概要” “ウェルカムパーティー” “グループディスカッション” “チェンジ・エージェント” “グループ別パフォーマンス” “選挙”の事等、まとめとして“世界大会の感想と学び”では、「世界のYMCAは、ハードな地域課題に立ち向かっている事、組織は小さくてもネットワークを活かし、社会に影響を与えることができる事」等をお聞きした。

帰国後、ご自身の“私のささやかなモデルチェンジへの挑戦”として、*英会話に挑戦、*笑顔とゆっくりスピーチ、*Yとのネットワークを生かした YOUTH EMPOWERMENT PROJECTの立ち上げ、*家族との絆に時間を、と感想を述べられた。



卓話後、生井担当主事からYMCA報告があり、メンバーが各自スマイルを報告した。今月の誕生祝は、相賀牧師と辻 孝子さん。会長の開会点鐘をもって閉会となる。

懇親会ではアルコールも楽しまれ、水田さんの気さくなお人柄に、とても親しみを感じました。

(岡崎さよ子 記)

<4 月事務例会報告>

日時:2015年4月14日(火) 18:30~20:30

場所:田園都筑教会

出席者:今城 T・H, 岡崎, 岡田 K・M, 鈴木 S・K, 田中,
辻 Ta・Ts, 林 S・M, 福島, 横田

報告・連絡

(1) 4・5月ブリテン巻頭言担当:⇒確認。

(2) 4月度本例会⇒司会:辻 Ts (東日本区委員会出席のため) から林 Sに変更。辻 Ts は6/26(金)本例会の司会を担当。

(3) 5月度本例会「富士山移動例会」、司会:鈴木恭子、受付・ブリテン:鈴木 茂、卓話:東日本区理事・田中博之ワイズに出席確認のうえ、「理事を困む懇談会」等を検討する。

(4) 第18回東日本区大会、厚木市文化会館・レンブラントホテル厚木⇒当クラブからは現在5名参加予定。更なる参加者を要望。

(5) 「みんなの家」報告⇒(今城 H):「先週、COCOの会に出席。今後1年間は自分が出席する旨、報告。6月または7月に水谷先生に講演をお願いするべく検討中、(鈴木 K):「ポピーの会には引き続き自分が出席する」。

(6) 「アーモンド」報告⇒(林 M):「中3の子供たちは無事、主に県立高校へ進学した。現在の指導陣は専属3名とボランティアという体制」。

(7) その他

【You&I コンサート関連】:①今年も「ふれあい助成金」の申請を社協に対して4/20までに行う。(林 S)、

②教育委員会の「後援」の取り付けを行う。(今城 T)。

【第3回部評議会】(4/25・土 14:00~ 於:中央 Y 501):出席者/今城 T・H, 鈴木 S, 辻 Ts。

【奈良傳賞候補者推薦の件】:当クラブからは該当者なし。

【ユースコンボケーションへの派遣候補者の件】:生井氏に確認する。

【山元町訪問の件】:インフルエンザの予防期間は4/末に解禁になる模様。みやま荘、南保育所ともにお誕生日会は従来通り「第3木曜日」開催とのことなので、諸般の事情を勘案して「今年は6月18日(木)に訪問する方向で検討を進めたい」(林 S)

4 協議

(1) 今・来月のCS活動

【すぷーん(月)調理ボラ】

(4月)4/6:今城 H, 杉本, 4/13:福島, 岡崎, 4/20:辻 Ta, 鈴木 K, 4/27:辻 Ts, 今城 T

(5月)5/4:今城 H, 杉本, 5/11:辻 Ta, 岡崎, 5/18:福島, 鈴木 K, 5/25:辻 Ts, 今城 T

【GTL(水)傾聴ボラ】

(4月)4/1:今城 H, 4/8:林 M, 4/15:岡崎, 4/22:横田

(5月)5/6:今城 H, 5/13:林 M, 5/20:岡崎, 5/27:横田

【ぼけっと(火)・(金)送迎ボラ】(三田地域福祉活動ホームなしの実⇒ぼけっと)

(4月)4/7 火:今城 T、4/14 火:中止、4/17 金:今城 T、
4/21 火:今城 T、4/24 金:今城 T
(5月)未定。

<2015年5月22・23日富士山例会準備案>

- ・鈴木会長の作製資料に基づき以下検討を行った:
- 1. 参加予定者、ゲスト
 - ・ゲスト予定: 田中博之理事 (早急に招待状を送付する)。
 - ・呼び掛け: 湘南・沖縄部各クラブ会長、その他、富士五湖、富士宮、東京武蔵野多摩を含む近隣のクラブおよび近隣在住のワイズに声掛けを行う。
- 2. 卓話 : 田中博之理事 (ご出席確認のうえ)
- 3. 懇話会: 田中理事を囲む懇談会など(現時点で形式は未定)
- 4. 懇親会 (BBQ) :
 - ・食材担当: 林 茂博 S⇒「さの万」に発注。野菜およびツマミ購入追加担当: 今城 H, 他。
 - ・飲み物担当: 横田。
 - ・焼き方担当: 今城 T、辻 Ts、林 S、山添。
- ※ ビール以外の飲み物—ワイン、焼酎、ウイスキー、その他、飲み物以外も含め、献品される志の高い方は全て横田担当にご連絡ください。
- 5. 懇親会 (アトラクション)
 - ・担当 : 久保さん、横田さん・・・歌声広場?
- 6. 配車
 - ・岡田車: 岡田 K・岡田 M・
 - ・鈴木車: 鈴木 K・鈴木 S・林 M・林 S
 - ・辻 車: 辻 T、福島、岡崎、相賀先生?
 - ・横田車: 今城 T/H、
- ※ 久保車は?要確認。参加者が最終的に確認された段階で再度検討する。
- 7. 交通費の精算
 - 昨年度の方式、実績を今城 Tが確認し、それに準じる。
- 8. 宿泊・食事代
 - 昨年度の実績等を踏まえ、今城 Tが確認する。
- 9. 閉会・黙祷
- ※ 会食・懇親会: 「一心」(旧「嘉門」の後継店)にて、出席者全員参加。

以上 (書記: 辻 剛)



<次期クラブ会長・部役員研修会に出席して>

・3月7日(土)ー8日(日)、日本YMCA同盟国際青少年センター・東山荘で開催されました「次期クラブ会長・部役員研修会」に出席して参りましたのでご報告を兼ね感想を述べさせていただきます。

当クラブからは、今城高之次期湘南・沖縄部長、林茂博次期部書記/次期クラブ副会長、岡田勝美次期部会計/次期クラブ書記、鈴木茂次期クラブ会計、辻剛・次期クラブ会長の計6名が参加いたしました。

・まず、渡辺隆・次期理事の方針からご紹介しましょう。主題は「原点に立って、未来へステップ」で、ワイズ、東日本区、クラブ、会員、それぞれの原点に立ち戻って方針を導き出しています。主な方針は、(1) YMCA サポートの強化、(2) 会員増強、(3) 部の強化・活性化、(4) スリムな区の運営、などです。

・それぞれの項目についてご報告するスペースはありませんので、次期理事がかなり強調されていた(3)の部の強化・活性化について簡単にご説明します。東日本区設立時の基本方針、即ち、「事業推進の主体をクラブ・部とし、部に権限を委譲し、部長の役割りは従来の理事に匹敵する。区事業主任の役割りは部の事業主任が担う」。この原点に戻ろうと呼び掛けています。手続き的に変わるのは、今までクラブから区へ送金していた各種献金について、部が窓口となり、事業主査から区に送金して欲しいとのこと。単に東日本区設立時の原点に帰るのでなく、部の強化が東日本区全体活性化につながるとの固い信念に立っているように思えます。各部の執行部の皆さんは、最初は若干戸惑うこともあるかもしれませんが、是非主旨を理解して部の改革に取り組んで頂きたいと期待したいと思います。

・次に印象に残ったのは、岡本尚男さん(京都パレスクラブ、元理事)の「ワイズメンのリーダーシップに期待するもの」と題した基調講演でした。歯切れのよい京都弁(?)を駆使したざっくばらんな話し振りで、聞き手を引きつけていました。



ワイズメンズクラブの原点は国際聖句「ヨハネによる福音書 17 章 21 節」/クラブ例会が全て/世のため人のため/会費が払えなくなったらワイズを止める/ワイズは奉仕クラブであり社交クラブである/世俗の論理を持ち込むな/クラブを存続させるのか、しないのか覚悟を決めよう/主役はメンバー、などなど成功

体験に基づいた印象的なワンフレーズを次々に語られました。われわれにとって大変示唆的なアドバイスで多くのことを考えさせられました。いつ読まれたのか、つづきクラブのブリテン(2015年1月号)に掲載された鈴木 茂会長の巻頭言「ワイズメンクラブのブランド再生」をとりあげ、大変良いことが書いてあると称賛されていました。(岡本さんの論文は「ワイズメンズクラブが生き続けるために」と題して、「ワイズ読本」に、「ワイズメンズクラブとワイズメンの在り方」と題して「ワイズ必携」に掲載されています。是非熟読されることをお勧めします。この2冊はワイズメンにとってバイブルのようなもので、私もワイズのことで迷ったり悩んだりした時は必ず手にします。さまざまな切り口からさまざまな先輩ワイズメンが思いを述べておられますので参考になります。)

・夕食後は各部毎に決められた部屋に集まり、次期部長を囲んで“焼酎 and 柿の種”で湘南・沖縄部の活性化について語り合いました。出席者は、つづきクラブの5人、金子功会長(横浜)、佐藤節子・部事業主査、堀田哲郎会長、北村文雄 LT 委員(以上厚木)の皆さんでしたが、会長さん、事業主査さんともに参加者が少なく若干寂しい部会でした。それでも最初は今城次期部長から次年度の「湘南・沖縄部会」の在り方など何点かの課題についての発題があり真面目に議論をいたしました。途中から肝心の次期部長のメイテイが深まり、その後はなんとなく数人ずつのグループ討議に移行、有意義(?)意見交換がなされ、零時頃お開きとなりました。部によっては明け方の4時頃まで熱心に議論が続いた由。(その部の皆さんは翌日本当に眠むそうでしたが・・・)

・二日目は8時から聖日礼拝に出席しました。「豊かな命」(ヨハネによる福音書10章10節)と題して、御殿場純福音キリスト教会の中見 透牧師の奨励がありました。「聖書の言葉を信じれば、“豊かな命”を得ることができる。心からありがとうといえる心を持つことが豊かな人生である。そうすればイスラム国に対しても、中国や韓国に対しても赦すことができる人生が用意されている・・・」(早朝からわが身の信仰の薄さを嘆くばかり。)

・私にとっては何も判らぬまま初代会長を仰せつからずから10年振りの研修会でした。まだクラブも設立されていないのに代々木のオリンピック村の会場で行われた研修会に林茂博さんに連れられて出席したことを懐かしく思い出しました。今回、又その林茂博さんとご一緒だったことに不思議なご縁を感じ、これまでのご指導に感謝の気持ちで一杯になりました。同時に10周年の節目を迎える次年度の会長を仰せつかったのもまた何かのご縁かなと感じています。次年度までまだ4ヶ月もあると思っておりましたが、この研修会をスタートとして徐々に次期会長モードに気持ちを切り替えて行こうなどと思いつつ東山荘を後にしました。

(辻 剛記)



<LT特集>

2015-16年度東日本区理事方針

2015-2016年度東日本区理事
渡辺 隆(甲府)

理事主題「原点に立って、未来へステップ」

(Stand at the origin and take a step for the future)

組織や制度を運営することに気をとられ、ワイズメンズクラブ設立時の生き生きとしたエネルギーが静まってきているのではないのでしょうか。ワイズメンは「自己犠牲に基づく人類愛」と言われる理想主義者であることが求められています。

ワイズメンズクラブに入会し、プログラムに参加し、親睦を深め、自己研鑽し、家庭・職場・地域・業界で「世の為、人の為」に働ける人にならなければなりません。「世の為、人の為」に働く人を世の中に送り出すワイズの目的をもう一度思い起こしましょう。

今、東日本区は様々な課題に直面しています。これらの課題を乗り越えるために、ワイズの原点に立ち返り、未来へ向けて新たなステップを踏み出しましょう。

それぞれのステージで原点に立ちましょう

- ワイズメンズクラブの原点は
- 東日本区の原点は
- あなたのクラブの原点は
- 会員としてのあなたの原点は

主な方針

1 YMCA サポートの強化

ワイズメンのYMCA会員率100%を目指しましょう
YMCAブランドを共有、活用しましょう。

2 会員増強

東日本区発足時(原点)の1,246人を目指そう
1クラブ純増1名を

3 部の強化・活性化 事業推進の主体はクラブ・部

部長の役割は従来の理事に匹敵する。区事業主任の役割は部事業主査が担う。
部長公式訪問、部会の充実を図りましょう。
各種献金は部を経由し、部事業主査の働きを高めましょう。

4 スリムな区の運営 区は小さなキャビネット

部を活性化することと区財政の逼迫化で、区運営の3S(Simple Slim Speed)を心掛けます。

<各種献金類の送金手続きの変更について>

次期会長・部役員研修会資料から引用

次年度(2015-2016)からは、各種献金類、報告等の手続きが一部変更になります。献金類はクラブから部を経由して納めるようになります。クラブ運営マニュアルの記述との変更点は下記ようになりますのでご注意ください。

●変更の理由

東日本区の財政逼迫により、東日本区事務所の態勢を簡素化します。区とすれば、60数件(クラブ)から受

け取っていたものが7件(部)になり、業務の簡素化が図られます。

同時に、部を経由することにより、部役員の献金に対する認識が高まります。献金類の請求も直前にクラブへ送るのでなく、数ヶ月前に部へ送ります。締め切り期限までの間、部とクラブで認識を共有して、献金の充実に繋げて下さい。

「クラブ」から「部」への送付締め切りは、今まで通り2月15日とします。「部」から「区」への送付期限は2月末日(2016年は2月29日)とします。(行事予定表参照)

区費の請求、納付については、これまでと同じです。

●「部」を経由して送る献金類

一人当たりの達成目標金額が定められている事業献金

- ・ 地域奉仕事業…ASF、CS、FF
- ・ 国際・交流事業…BF、TOF、RBM(ロールバック・マラリア)、YES
- ・ ユース事業…YVLF 負担金(これまで通り)

●今まで通り「クラブ」から「区」へ直接送るもの

- ・ 区の経常会計に反映するもの…区費、入会金、ロースター代金及びロースター広告料
- ・ 基金類…一人当たりの達成目標が定められていない基金=JEF、EF
- ・ 現物…アルミプルタブ、使用済切手、お年玉年賀切手シート

●会員異動報告について

これまででは、会員の入会、退会等があった時は、クラブから直接、東日本区会員増強事業主任に報告していますが、次年度からは半年報の報告同様、「部」を経由します。

クラブは部長及び部会員増強事業主査へ報告して下さい。「部」は「事業主査」が区会員増強事業主任及び東日本区事務所へ報告して下さい。

部事業主査が会員の異動を把握できない、という声に応えるものです。

2015-2016年度

湘南・沖繩部部長方針並びに活動計画

2015-2016年度 湘南・沖繩部部長

今城 高之(横浜つづき)

1. 部長主題 「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」

- ・ ワイズ活動で大切なことは、メンバー一人ひとりが隣人を愛し、社会の弱者に寄り添って生きることを目指すことによって、平和で平等な世界を造ることであると信じ前進することです。
- ・ 家族、友人、仲間など、身近な人々を愛し、痛みを分かち合うことから始め、その輪を次第に広げて行きましょう。
- ・ ワイズメンという、かけがえのない仲間を持つ幸せを心より喜び、できるだけ多くの人々と同じ思いを分かち合えるよう働きかけましょう。

2. 2015-2016年度の活動方針と計画

1) 基本的考え

- ・ 今年度1年間で目に見える成果を求めるのではなく、来るべき未来に達成すべきより大きな目標に向かう最初の一步を踏み出す年とする。
- ・ 各クラブ内で、また、部で十分な論議を尽くして、それぞれ長期的視野に立った新しい目標の設定を行う。
- ・ 活動の中で、会員それぞれの創造力が大いに発揮されるよう、各クラブにおいては自由闊達な雰囲気づくりと組織基盤の強化を奨励する。

2) 個別事業

①地域奉仕事業

各クラブでは、ワイズ活動の根幹となる事業と位置づけよう！

- ・ 所属する地域社会に密着した活動を活性化させる。
- ・ 地域YMCAとの協働による特色あるプログラムの創設を図る。
- ・ 地域の特色、クラブメンバーの特徴を生かし、継続性のあるプログラムを立ち上げる。
- ・ 環境問題への関心を失うことなく新たな活動に取り組む。

②会員増強事業

会員減少の防止並びに増強はワイズ活動継続の生命線である！

- ・ クラブメンバー一丸となって諸策を講じる。
- ・ 地域の中高年者で、ボランティア活動を志すが、その方法が分からない方が多いことから、地域社会における認知度を高めるよう努力する。
- ・ 魅力ある、楽しいクラブ作りを行うため、各クラブのサクセスストーリーを交換し、互いに学び合う。
- ・ 現行勢力8クラブ134名(2015.1.1現在)の当部では、年度内に各クラブ2名増を目標とし、150名を目指す。
- ・ 新たに最低1クラブの設立を図る。

③国際・交流事業

ワイズは、国際的友好団体であることを自覚しよう！

- ・ 国内外他クラブとの交流を進めることにより、ワイズライフをより楽しく、幅広いものとする。
- ・ 各クラブがIBC、DBCを進めようとする際に部は、東西日本区事務所、国際協会事務局などにパートナーの斡旋を依頼するなど側面的支援を行う。
- ・ 国際プログラム事業については、部より各クラブに対して「強調月間」の確認を行うなど、実施の徹底を図る。

④ユース事業

YMCAの主目的である青少年の育成の観点から、ユース事業の展開はワイズに課せられた重要な課題であると認識しよう！

- ・ ワイズユースクラブ横浜Y3を有する当部においては、同クラブとの積極的な交流を今年度の目標と

する。

- ・ 研修活動などへの地域YMCAのユースリーダーの派遣などの支援活動を進める。
- ・ 各クラブが所属する地元YMCAのスタッフやリーダーとの交流を進め、将来のワイズメンとなるよう啓発する。

＜2015-16年度 東日本区行事予定表＞

月	強調月間	東日本区行事・報告・送金	湘南・沖縄部
7		10 各クラブ前期半年報提出(部長まで)	1 部報発行
	キックオフ	11 第1回役員会(東京YMCA)	4 横浜とつか
	YMCAサービス	15 部長は半年報を纏め、	9 横浜・金沢八景
	ASF	会員増強事業主任へ提出	14 鎌倉
	RBM		22 厚木
	31迄	前期請求書発送	24 横浜つづき
			25 第1回評議会
8	CS		
		15 前期区費納期	
9	ユース		部長通信
			26 湘南・沖縄部部会
10	EMC/E		
	YES	31 次期部長・事業主任研修会	
11	ワイズ理解	7 第2回役員会	20-22 沖縄公式訪問
	ファミリーファスト	10 ワイズデー	21 第2回評議会 部長通信
12	EMC/MC	8 祈りの輪	
1			16 Y-Y'S新年会
	IBC/DBC	10 各クラブ後期半年報提出(部長まで)	部報発行
		15 部長は半年報を纏め、 会員増強事業主任へ提出	第2回公式訪問
	31迄	後期請求書発送	
2	TOF		
		15 後期区費、ASF・BF・CS・EF・ FF・RBM・TOF・YES納期	
3	BF	5-6 次期クラブ会長及び	部長通信
	メネット	次期部役員研修会	
		11 代議員会告示	
		15 BF切手・フルリング納期	
4	LT	8 代議員会議案締切	
		9-10 第3回役員会	23 第3回評議会
5	EF/JEF	6 代議員会議案送付	部長通信
		15 JEF イトリ・締切	
6	評価	3 第4回役員会	
		4 代議員会	
		4-5 第19回東日本区大会(長野)	部報発行 第4回評議会

(湘南・沖縄部予定は暫定版)

＜横浜北YMCAだより＞

3月末の出来事です。東急東横線横の歩道橋を歩いているとお母さんとお嬢さんお二人の3名の家族とすれ違いました。その姉妹は、プールバッグをそれぞれに持ち、歩きながら妹さんが大きな声で「あっ！YMCAだ」と声を出され、建物に向かって「〇〇ちゃんがいまからいくからね」と声を出されていました。春の季節講習会の初日の昼のことでした。そのお嬢さんは、参加できる年齢になられ、その日がYMCAデビューつとといった感じでした。すれ違った私にとっては、うれしい瞬間でした。YMCAのプログラムを楽しみにされ、期待して下さる小さなファンとの出会いでした。この春も横浜北YMCAのプログラムに580名の方々が参加してくださいました。プログラムに参加される会員から、いつしかワイズの皆さんのように地域の中で奉仕活動をされ、「YMCAを支えてくださる」そんなメンバーに加わっていただくことを今から楽しみにしていきたいと思えます。

2015年度のプログラムもスタートしました。今年度も会館内、野外、そして菊名小学校の中でと活動をしていきます。つづきワイズの皆様をはじめとし、多くの方々に愛されるYMCAとしてスタッフ一同頑張っています。どうぞ、ご指導とご支援をお願いいたします。

また、4月29日(水・休日)は、『家族みんなの健康づくりを応援する』をテーマにヘルシーキッズデイを行ないます。家庭・家族、そして地域に向けてプログラム実施します。お時間がございましたらぜひプログラムをのぞいてみてください。

最後になりましたが今年度もよろしくお願ひいたします。

4月から新しく加わったスタッフを紹介します。

- ・ 神田橋 慧一(アフタースクール事業)本牧南キッズより異動
- ・ 三原 悠生 (健康教育部) 新職
- ・ 千葉 巧 (健康教育部) 新職
- ・ 落神 李子 (生涯学習部) 新職

また、バザーや交流会などで関わりを持つことができると考えております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

《5月行事予定》

5月16日 横浜北YMCA運営委員会

5月30日 横浜YMCA会員総会

(館長 生井 和三)

編集後記

今月号は、LT特集として次年度の準備にスペースを割いたため、文字原稿が多い紙面になってしまいました。

次号は、9周年記念・富士山YMCA例会の特集で、写真満載となる予定です。

皆さんからのご寄稿もお待ちしておりますので、よろしくお願ひします。(S.H.)